

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 6/12 第9号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

思い出に残る修学旅行

6月2日（金）から4日（日）まで3年生は修学旅行へ行きました。行き先は、長崎県壱岐島と北九州門司港です。3日間、晴天に恵まれ思い出に残る修学旅行になりました。前日の6月1日（木）の学年集会で私から3つのことをお願いしました。一つ目は、マナーを守り、壱岐の人たちとふれあって、いっぱい話しをしてほしいということです。二つ目は、壱岐の人たちと話しをする中で京都のすばらしさを伝えてほしいということです。三つ目は、事前学習で学習したことを実際に確かめて、壱岐を肌で感じてほしいということです。生徒は、旅行中3つのことをしっかり実行してくれました。それでは、修学旅行を振り返ってみましょう。

1日目は、京都駅から新幹線で博多まで行き、博多港から時速65kmというとてもなく速いジェットホイルで1時間少々で壱岐に到着です。壱岐では、壱岐市役所の皆様から熱烈な歓迎を受けました。壱岐の人たちの温かさを感じた歓迎式でした。その後、人気スポットである「猿岩」を訪れたり、「魏志」倭人伝でも有名な「一支国博物館」を訪れました。博物館からは眼下に復元された竪穴住居や高床式倉庫などがある原の辻遺跡が広がり、古代のロマンを感じました。

弥生時代にすでに人々は生活を営んでいたのです。そして、各クラスがお世話になる民宿に到着しました。6つの民宿は、すべて海の近くにあり、たいへん風景がよかったです。海の美しさには驚かされました。それから忘れてはならないのは食事です。海の幸をふんだんに使った料理で疲れた身体を癒やしてもらいました。食事の後、連れてもらった「蛍ウォッチング」も素敵でした。生徒も感動していました。

2日目は、いろいろな体験活動をして過ごしました。マリン体験とイカの一夜干し体験です。マリン体験は、バナナボート、ビスケットボート、シーカヤックなどで生徒は美しい海を満喫しながら楽しんでいました。砂浜で砂まみれになりながら戯れる生徒も多かったです。イカの一夜干し体験は、慣れない手つきでイカをさばいていました。普段はできない貴重な体験ができました。夜は、壱岐神楽を鑑賞しました。夜の帳が降りる中、幽玄な雰囲気で生徒は静かに、そして興味深く鑑賞していました。その後は、体育館に場所を移して学年レクリエーションを楽しみました。



3日目最終日は、壱岐とお別れです。各民宿でお別れ式を行った後、郷ノ浦港から温かく迎え入れてもらい、お世話になった方々に見送られながらジェットフォイルで壱岐を後にしました。博多港に到着後、バスで北九州市門司レトロタウンを訪れ、関門海峡や関門橋をバックにして学級写真を撮りました。改めて関門海峡の狭さを実感しました。なにしろすぐ目の前に下関があるのでありますから。生徒は、班別でレトロタウンを散策していました。日曜日で訪れる人が多かったのですが、生徒は笑顔で散策を楽しんでいました。



こうして、修学旅行を振り返ってみると、充実した修学旅行だったと改めて実感します。修学旅行での経験を今後の学校生活に活かして、さらに充実した、一人一人が輝く学校生活にしていくください。